

美しく、
学びやすい

平成30年度版 光村図書 書道
編集の趣旨と特色



古典教材の ラインナップが充実

ページを増やし、生徒がより多様な古典に親しむことができました。



龍門石窟の書を多数掲載。

教科書 40・41ページ

漢字の書が14ページ増えました。

掲載古典数も旧版から大幅増。40→85点になりました。(漢字／仮名／漢字仮名交じり含む。)



「書聖」王羲之の書を比較鑑賞。

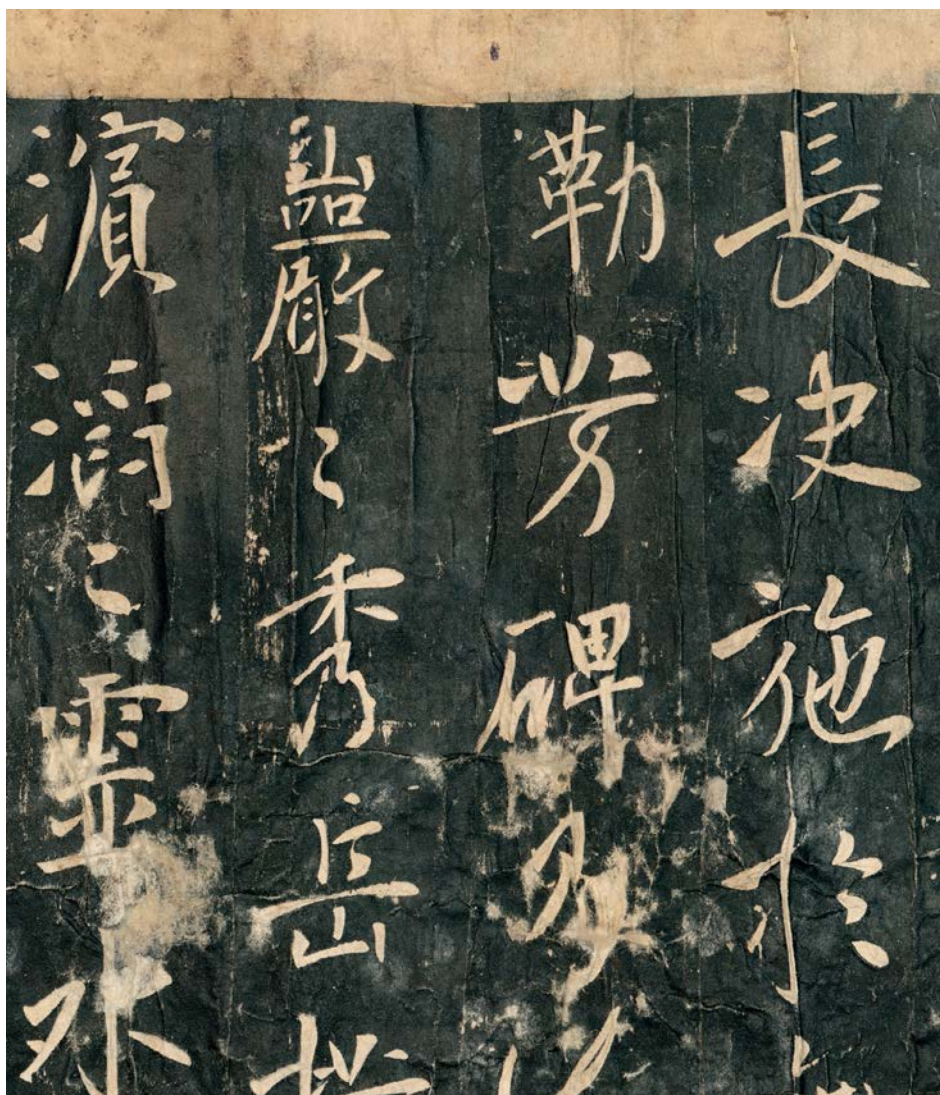
教科書巻頭

臨場感のある 美しい図版

高精細の図版で、原跡を忠実に再現しました。

拓本の
しわまで見える
鮮明な印刷。

 教科書33ページ



大胆な筆致が
伝わる木簡の
拡大図版。

教科書22・23ページ 



学びを広げるコラム

書の文化や歴史への理解を深めるコラムを充実させました。

文字の古き歴史

何のために書くのか？

今から三千年以上前に生まれた漢字。人々は、何のために文字を必要としたのでしょうか。書かれた内容から見てみましょう。

記録を残すために。

石鼓文 → 紀元前4世紀
周宣王の詩で書かれた石鼓文。王の狩りの様子。

甲金文 → 紀元前13世紀
周の周宣王に書かれた殷虚や西周に書かれた文字。

籀文 → 紀元前214年
秦の始皇帝が統一した文字。小篆と呼ばれる。

思いを伝えるために。

封泥 → 紀元前2世紀
木簡・竹簡などの文字を封じるために。漢代から3世紀にかけて。

石鼓文 → 紀元前4世紀
周宣王の詩で書かれた石鼓文。王の狩りの様子。

甲金文 → 紀元前13世紀
周の周宣王に書かれた殷虚や西周に書かれた文字。

文字を知るために。

籀文 → 紀元前214年
秦の始皇帝が統一した文字。小篆と呼ばれる。

石鼓文 → 紀元前4世紀
周宣王の詩で書かれた石鼓文。王の狩りの様子。

甲金文 → 紀元前13世紀
周の周宣王に書かれた殷虚や西周に書かれた文字。

文字の近き未来

亡き人を悼むために。

石鼓文 → 紀元前4世紀
周宣王の詩で書かれた石鼓文。王の狩りの様子。

甲金文 → 紀元前13世紀
周の周宣王に書かれた殷虚や西周に書かれた文字。

籀文 → 紀元前214年
秦の始皇帝が統一した文字。小篆と呼ばれる。

コラム一覧

- ・ 何のために書くのか？
(書の果たしてきた歴史的役割)
- ・ 名品になった詫び状(藤原佐理の書)
- ・ 北宋の三大家
- ・ タイムスリップ書道史(日中の書の交流)
- ・ 日本文学に登場する能書
- ・ 伝称筆者と古筆
- ・ やってみよう「墨流し」「ぼかし染め」
- ・ 良寛の書
- ・ 書に会いに、町へ行こう
(町で見られる刻字)

タイムスリップ書道史

804年

唐 安史の乱後、不安定な政情が続く。

唐 孔子廟堂碑完成、この頃楷書が確立。

平安 空海が入唐、日本に伝える。

804年

タイムスリップ書道史

630年

唐 最初の遣唐使を派遣。

平安 空海が入唐、日本に伝える。

804年

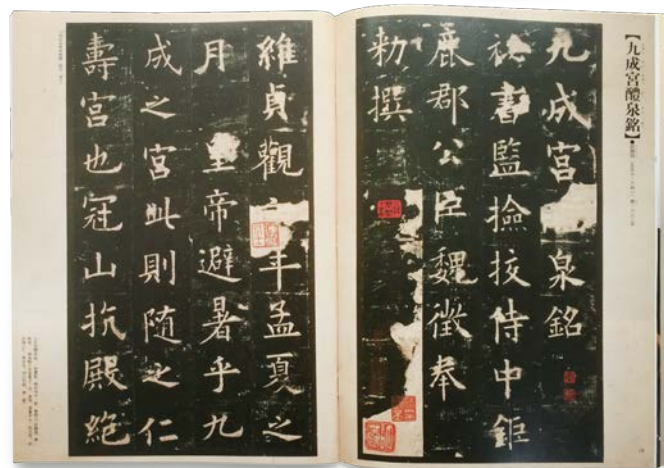
教科書44・45ページ

【仮名の書】
高野切第一種・本阿弥切本古今和歌集・関戸本古今和歌集・高野切第二種・針切・香紙切・元永本古今和歌集・継色紙：

【漢字の書】
泰山刻石・石鼓文・臨石鼓文・小臣餘糧尊・甲骨文之瑛碑・居延漢簡・曹全碑・石門頌・十七帖・書譜・草書諸上座帖卷・集王聖教序・温泉銘・祭姪文稿・爭坐位文稿・祭伯文稿・薦李直表・鑾玉子碑・始平公造像記・美人董氏墓誌銘・孟法師碑：

主な掲載古典

二つ折りしやすい製本です。



私の「書」に出会う

主要古典を

ダイナミックに掲載

書を学ぶうえで基本となる古典は4ページ構成とし、
古典を見開き・原寸大で掲載しました。

篆刻刻字 ブック

篆刻・刻字を取り外せる
小冊子にしました。学習時期を
選ばずにご利用いただけます。

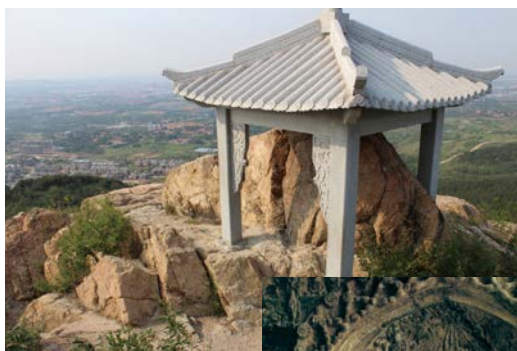


教授資料のご案内

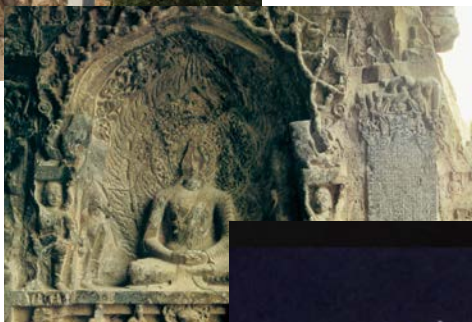
指導展開例や古典の解説などを掲載した本編の他に、
DVD-ROMや別冊などの付属資料が充実しました。

● 付属DVD-ROM

動画や写真に加えて、別冊ワークシート集、
別冊臨書用手本、評価テスト集などのデータを収録。



漢字の古典教材にまつわる
写真資料を収録。

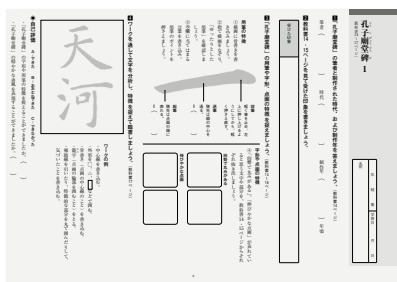


臨書教材や篆刻など
豊富な動画資料。



● 別冊ワークシート集（B4判）

記入式の設問や古典のなぞり書きシート、
日常の書式など充実の内容。



● 別冊臨書用手本（B4判）

半紙原寸大の手本を多数収録。



編集委員

高木聖雨〔大東文化大学教授〕

黒田賢一〔書家〕

永守蒼穹〔元大東文化大学教授〕

宮澤正明〔山梨大学教授〕

横田恭三〔跡見学園女子大学教授〕

薄田東仙〔書家〕

金子大蔵〔立教大学講師〕

坂井孝次〔福岡教育大学准教授〕

佐藤顕弘〔東京都立小松川高等学校講師〕

富田 淳〔東京国立博物館学芸研究部長〕

中村史朗〔滋賀大学教授〕

鍋島稲子〔台東区立書道博物館主任研究員〕

真鍋昌生〔大阪府立三国丘高等学校講師〕

山根互清〔書家〕

校閲

市原恭代〔カラーエバーサルデザイン工学院大学准教授〕
佐島 毅〔特別支援教育〕〔筑波大学准教授〕

書Ⅲのご案内（主な掲載古典）



書Ⅲ 304

〔漢字の書〕

散氏盤・天發神識碑・中山王壺・篆書五言聯・
包山楚簡・礼器碑・敦煌漢簡・銀雀山前漢簡・
開通褒斜道刻石・題善和之廬壁・袁詒帖・温泉銘・
臨河序・離洛帖・行草書七言絕句軸・樂字子碑・
楷書前後出師表卷・高貞碑

〔仮名の書〕

秋萩帖・升色紙・桂宮本万葉集・十五番歌合・
巻子本古今和歌集・曼殊院本古今和歌集・条棋政集・
更級日記・源氏物語抄・和歌一首

内容解説資料

発行者 光村図書出版株式会社
代表者 小泉 茂
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話 03-3493-2111 (代表)
光村図書ウェブサイト
www.mitsumura-tosho.co.jp
印刷 協和オフセット印刷株式会社
デザイン スープデザイン



光村図書